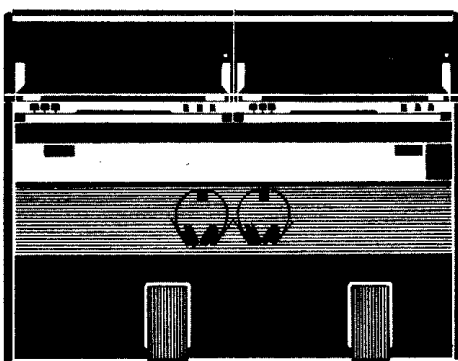


YAMAHA DESK ORGAN

デスクオルガン E型
DE-37A取扱説明書



このたびは、ヤマハデスクオルガンE型(電子式)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

————— このデスクオルガンE型は —————

①個別学習・相互学習機能

ヘッドホンを使って、自分だけの音で学習できます。また簡単な操作で隣どうしが音を聞きあいながら学習できます。

②音域変換機能

37鍵ですが61鍵分の音域をカバーできます。

③音色機能

フルート、オーボエ、ストリングの音色を備え、組み合わせて多彩な音色が得られます。

④ビブラート機能

音楽の様式、曲の性格、演奏の内容に合わせてビブラートがかけられます。

このようにデスクオルガンE型は、さまざまな特色を備え、さらにヤマハの開発したミュージック・ラボラトリー・システムの生徒用楽器としてもご利用いただけます。

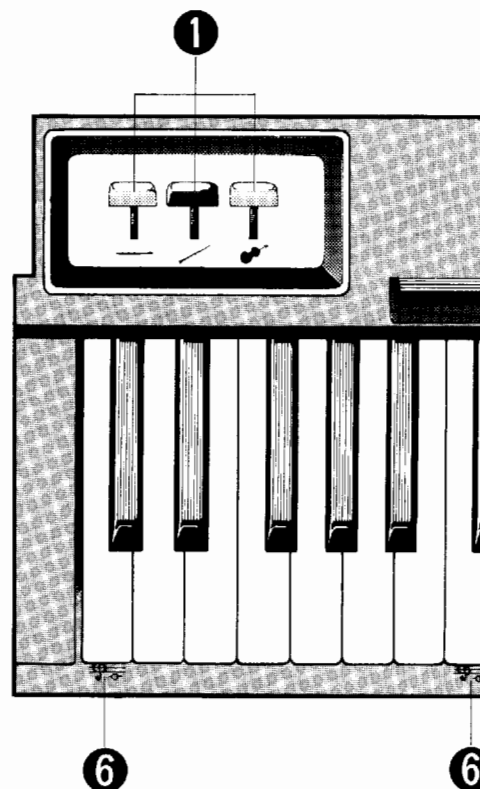
ヤマハデスクオルガンE型の機能を充分にご活用いただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

————— 目 次 —————

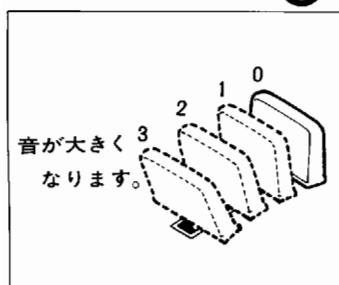
各部の名称と機能	1. 2
音域表	3
仕様	3
オルガンは大切に使いましょう	4
このような場合は故障ではありません	5
ヤマハのサービスネット	6
ヤマハ・ミュージック・ラボラトリー・システムへのご案内(YML®)	7～10

各部の名称と機能

- ① トーンレバー
- ② 個別学習/相互学習切換スイッチ
- ③ 音域切換スイッチ
- ④ ビブラートつまみ
- ⑤ スピーカー/ヘッドホン切換スイッチ
- ⑥ 音域表示ランプ
- ⑦ 電源スイッチ
- ⑧ コールボタン(ML化したときに使います。)
- ⑨ 交信用マイクロホン(ML化したときに使います。)



● トーンレバーのセット ①



レバーをゆっくり前後に動かしていただきますと、途中2ヶ所に軽い手ごたえがあります。これをクリック・ストップといい、1・2・3の順に手前に引くほどその効果は大きくなり、0のときは音が出ません。

● 音色機能

デスクオルガンE型には基本的な音色として〈フルート〉・〈オーボエ〉・〈ストリング〉の三つの音色があり、これらの音色を組み合わせることで多様な音色をつくり出すことができます。

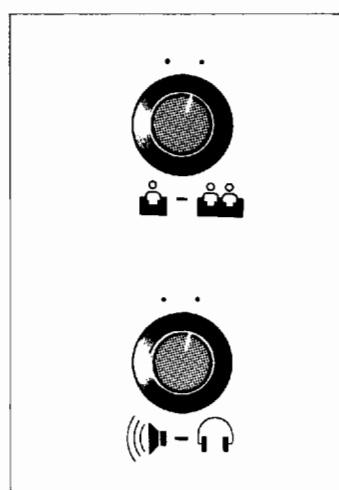
- ① フルード (フルート) 柔らかく甘い感じの音色です。
- ② オーボエ (オーボエ) 倍音を含んだ個性的な音色です。
- ③ ストリング (ストリング) 輝かしく明るい感じの音色です。

● 電源スイッチ及びスイッチ押え ⑦

電源スイッチを入れますと、音階表示ランプが点灯しますので点灯を確認してから演奏を始めてください。

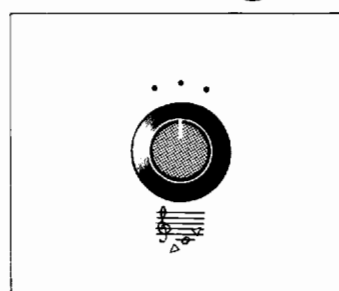
終了しましたら電源スイッチを切ってください。もし電源スイッチを切り忘れても蓋を閉めると自動的にスイッチの切れるスイッチ押えが鍵盤蓋の内側についていますので、安心してお使いいただけます。

● 個別学習/相互学習切換スイッチ ② ⑤

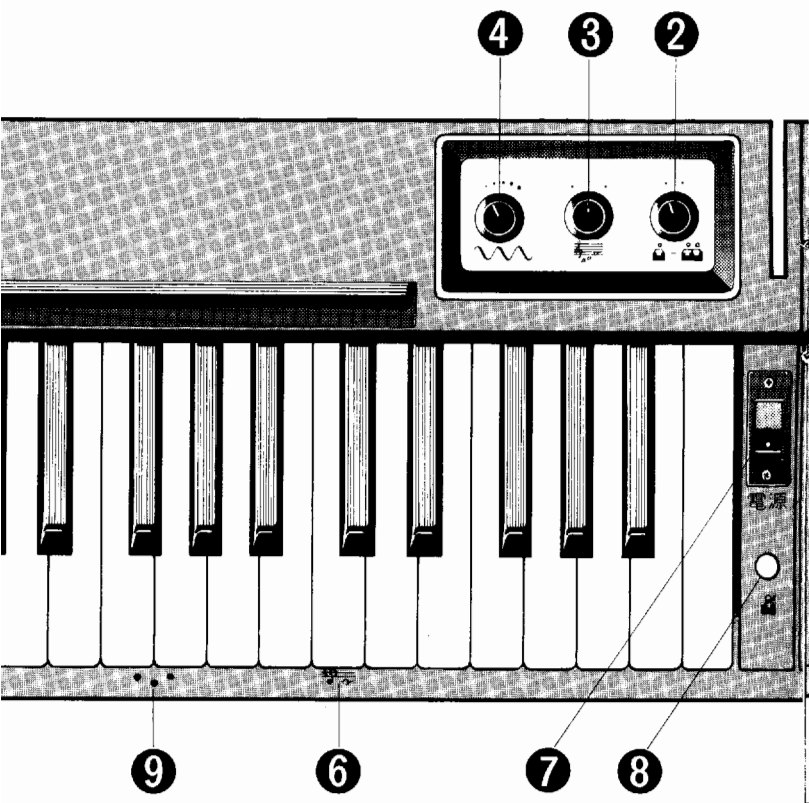


左図のようにスイッチを操作すれば、ヘッドホンを通して、隣どうしが演奏や意見を交換しながら学習することができ、アンサンブルの基礎学習を静かな雰囲気の中で行なうことができます。

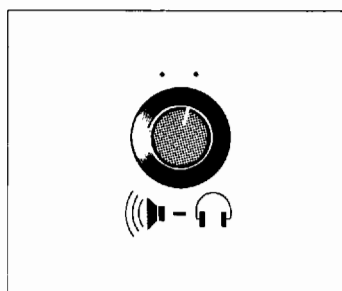
● 音域切換スイッチ ③



音域を高・中・低の3段階に切り換えることができ61鍵分の音域をすべてカバーします。つまみを回しますと、中央の位置は連結されたデスクオルガンの両方が同一方向に移動し、音域表示ランプ⑥のついた位置に変わります。

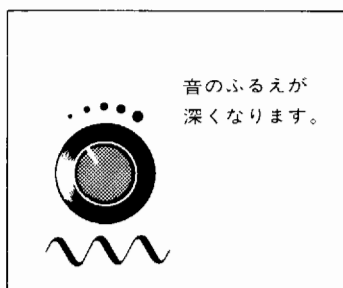


●スピーカー/ヘッドホン切換スイッチ ⑤

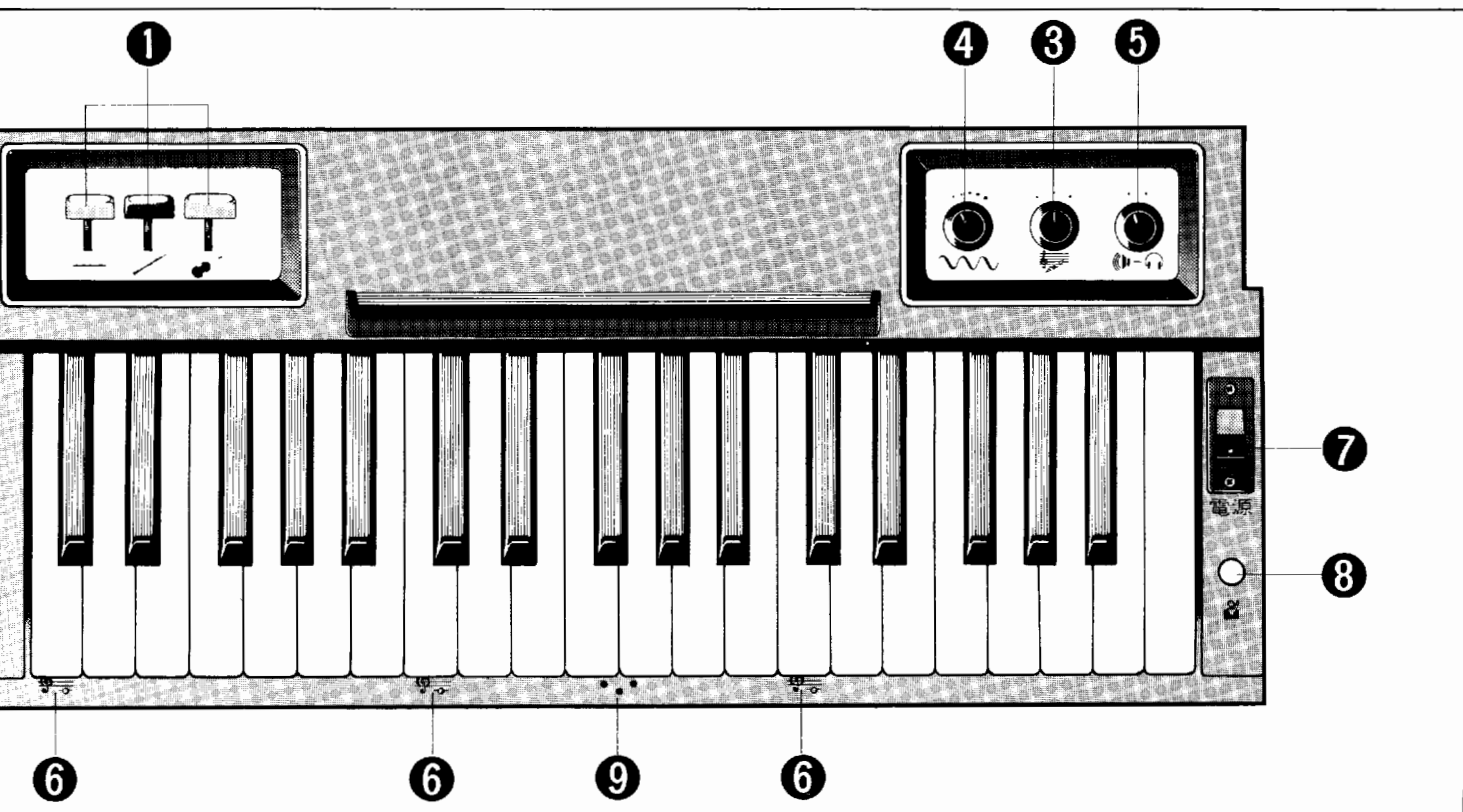


個別学習・相互学習のときには、ヘッドホン側にし、ヘッドホンを使って静かに学習をすることができます。スピーカー側にしますと前面に内蔵されたスピーカーから音が出ます。

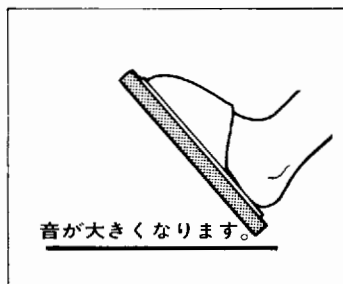
●ビブラートつまミ ④



音のふるえる効果です。曲の性格・演奏の内容・音色の種類などに合わせて、ビブラートを適切に選択し、表現をいっそう味わい深いものにすることができ、つまミの操作で連結された両方のデスクオルガンに同一の効果がかかります。

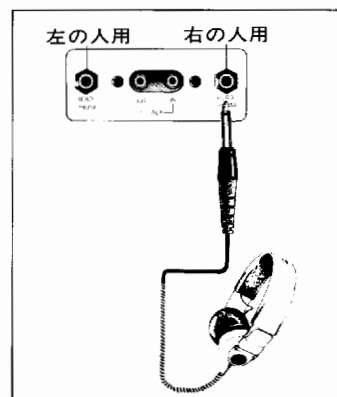


● エクスプレッションペダル



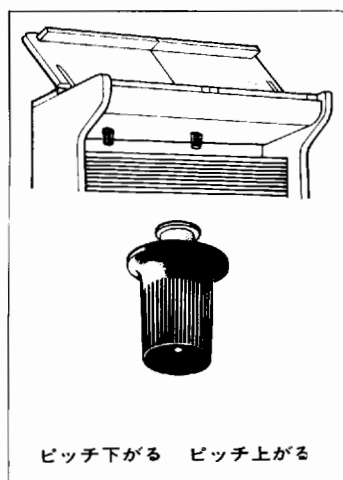
前面下側にあります。演奏中にこのペダルを踏む加減によって音の強弱を表現することができます。ペダルが手前に戻っている状態では音が出ません。

● 学習用ヘッドホンジャック



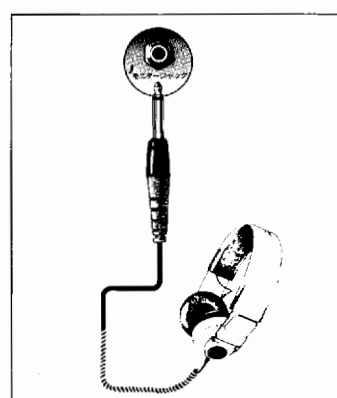
このジャックは鍵盤下（棚板下）にあります。スピーカー／ヘッドホン切替スイッチをヘッドホン側にし、ヘッドホンジャックに差し込んで使います。

● ピッチ・コントロールつまみ



他の楽器と合奏するときに使います。合奏する楽器との音程が合っていないときのみ、このつまみで調整します。鍵盤下（棚板下）にあるつまみを右に回すと音程が上がり、左に回すと音程が下がります。つまみを回したとき手ごたえのある箇所が標準音程（約440Hz）になっています。

● モニタージャック



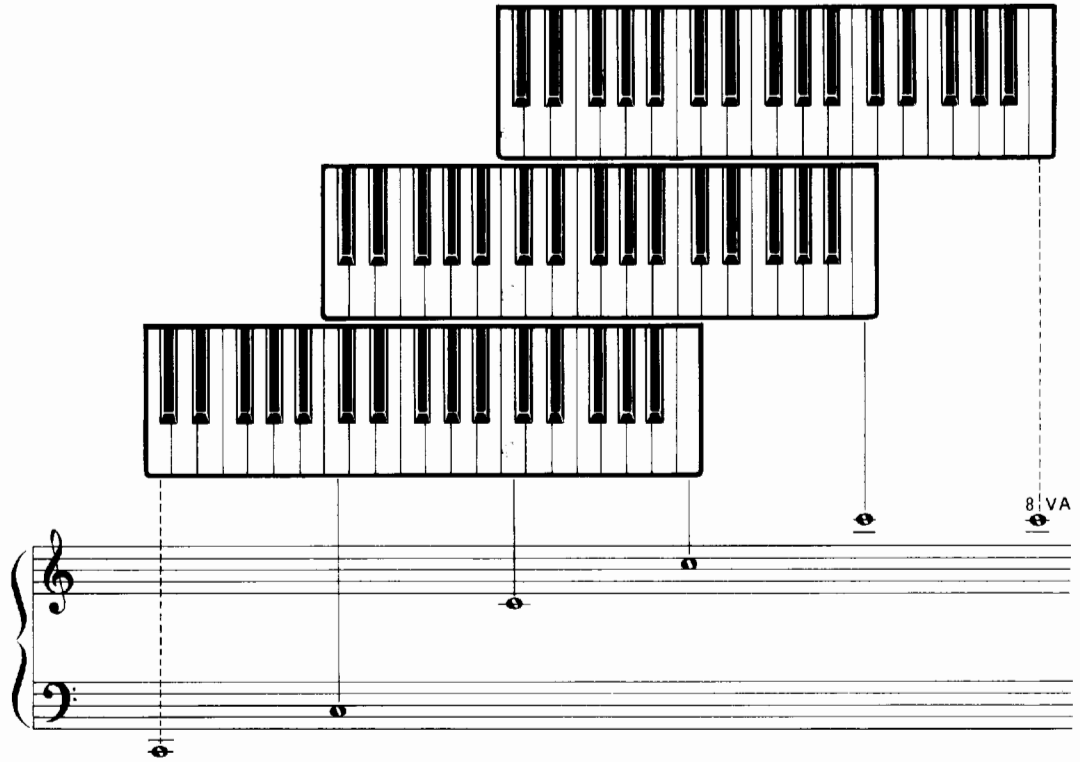
デスクオルガン裏側についています。先生が巡回指導するときを使い、ヘッドホンプラグを差し込みますと、その席の生徒の演奏をモニターすることができます。

★ML化したときに使います。

- コールボタン 8 先生を呼び出すときに使います。
- コンデンサ・マイク 9 先生と通話するときに使います。

音域表

音域切換スイッチと
音域との関係



仕様

形式 2台連結タイプ

機構 電子発振方式

鍵数 37鍵×2 (c~c3)

機能 スピーカー/ヘッドホン切換スイッチ

個別学習/相互学習切換スイッチ

音域切換スイッチ(上・下1オクターブ)

ピブラートツマミ×2

音色レバー(フルート、オーボエ、ストリング)×2

エクスプレッションペダル×2

ピッチコントロールツマミ×2

学習用ヘッドホンジャック×2

付属端子

モニター用ヘッドホンジャック×2

AUX-INジャック、AUX-OUTジャック

コールボタン(ML化後に必要)×2

交信用マイクロホン(ML化後に必要)×2

スピーカー(20cm)

外装 ウォルナット板目化粧仕上

寸法・重量

間口/118.7cm、奥行/43.5cm

高さ/74.6cm、重量/41kg

規格 定格電圧100V、定格周波数50/60Hz

定格消費電力30W

付属品

椅子2脚

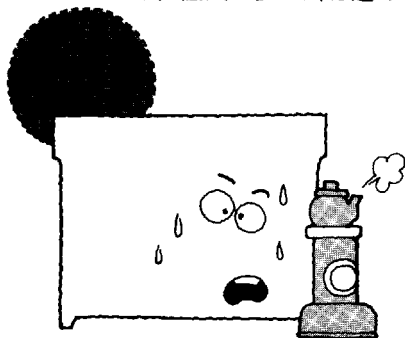
別売品

楽器専用ヘッドホン HP-50A

1個 ¥5,000

オルガンは大切に使いましょう

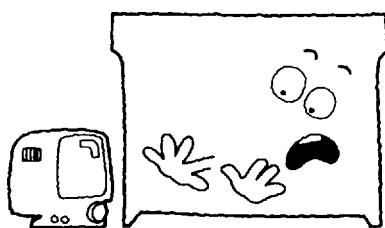
- 温度や湿度に気をつけましょう。
直射日光の当たるところや、湿気の多い所は避けましょう。



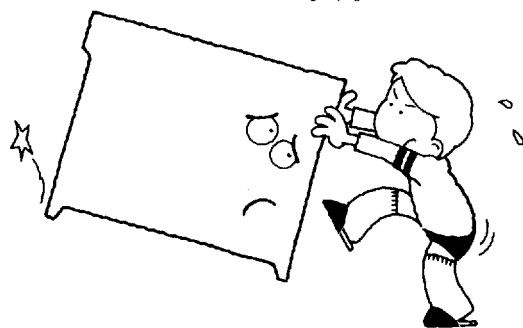
- 鍵盤のお手入れは湿ったやわらかな布で
鍵盤のお手入れは、やわらかな布を水につけ、よく絞ったもので拭くようにしてください。アルコール、ベンジン、シンナーなどは絶対にご使用にならないでください。



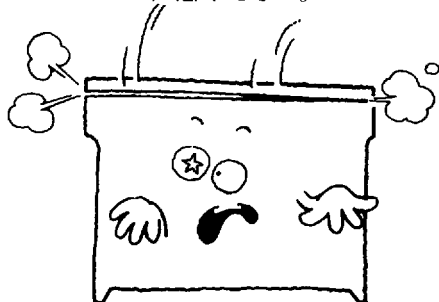
- テレビ、ラジオにオルガンが影響を及ぼす場合があります。
テレビやラジオをオルガンの近くで使用すると雑音が入る場合があります。このような場合にはオルガンからできるだけ離してご使用ください。



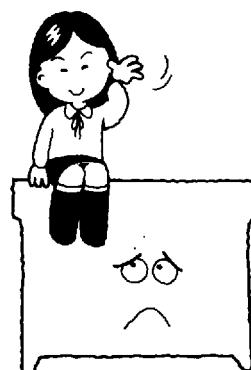
- 2人で静かに運びましょう。
オルガンを移動する時には、引きずったり、押ししたりしないで2人で静かに運びましょう。



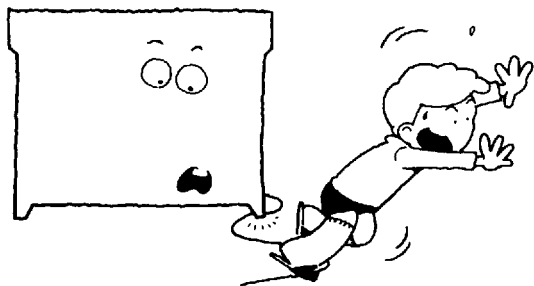
- オルガンはやさしくお使いください。
スイッチ類の操作や蓋の開閉は丁寧にしましょう。また、マジックやボールペンで落書きなどをしますと消すことができませんのでご注意ください。



- オルガンや椅子の上に乗らないようにしましょう。
オルガンや椅子の上に乗りますと、バランスが崩れて倒れることがあり危険ですのでやめましょう。



- 配線には充分注意しましょう。
足でコードをひっかけたり、楽器でコードを踏まないように充分ご注意ください。



※デスクオルガンE型を数台設置する場合にはお買い上げ楽器店に、さらに数十台設置する場合には屋内幹線容量の確認及び使用許可が必要となりますので、最寄りの日本楽器電音サービスセンターまでご相談ください。

このような場合は故障ではありません

A

スイッチを入れた瞬間
ポンと音がする。

デスクオルガンが作動し、メインアンプ
内部に電流の流れた音ですので心配いり
ません。

B

時々雑音が入る。

電気器具の電源の入、切時、また市街地
のネオンサインの故障、電気ドリルなど
がデスクオルガンに影響することがあり
ます。原因と思われる器具から離すか、
原因不明、ご不審の点は日本楽器各電音
サービスセンターまでご連絡ください。

C

音が割れる。

デスクオルガンの音は持続音ですので、
周囲の戸棚、窓ガラスその他の器物に共
鳴して音が割れて聞こえることがありま
す。このようなときには、音量を小さく
するか、共鳴物を取り除くようにしてく
ださい。

D

ラジオやテレビなどの
電波の入ることがある。

近くに大電力の放送局やアマチュアの無
線局があるとき、デスクオルガンに影響
する場合があります。
どうしても気になる場合には、日本楽器
各電音サービスセンターまでご相談くだ
さい。

ヤマハのサービスネット

納入点検調整サービス

デスクオルガンを納めさせていただく際には販売店から、デスクオルガンの説明とあわせてデスクオルガンを最良の状態にするよう点検調整させていただきます。ご不明の点及びお聞きになりたい事がありましたら、お買求め頂いた楽器店にご質問ください。

アフターサービスと保証

万一故障が発生した場合にはお買求め頂いたヤマハ特約楽器店、またはヤマハ直営楽器店にご連絡いただきますと、販売店またはヤマハの技術者が調整修理にお伺い致します。デスクオルガンの保証は保証書裏面に記載の規定によりご購入から満1ヶ年です。満1ヶ年の保証期間が切れますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスさせていただきます。

ご連絡をいただく際には

1. デスクオルガンの様子をできるだけ詳しくお知らせください。用意する部品などの見当がつきスムーズな点検修理ができます。
2. デスクオルガンの種類など、サービスご依頼のデスクオルガンの詳細をお知らせください。使用部品が製造時期やモデルによって異なる事もありますので、早く確実にサービスさせていただくために是非お願い致します。
3. サービスご依頼後、日時が経過してもなおサービス員がお伺いしない場合は、お手数でも右記までご連絡ください。責任をもって処理させていただきます。

〔修理受付および修理品お預り窓口〕

北海道電音サービスセンター

☎(011)781-3621
〒065 札幌市東区本町1条9-3

仙台電音サービスセンター

☎(0222)36-0249
〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F

東京電音サービスセンター

☎(044)434-3100
〒211 川崎市中原区本月1184

新潟電音サービスステーション

☎(0252)43-4321
〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F

浜松電音サービスセンター

☎(0534)56-9211
〒432 浜松市東伊場2 13-12

名古屋電音サービスセンター

☎(052)652-2230
〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター

大阪電音サービスセンター

☎(06)877-5262
〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内

四国電音サービスステーション

☎(0878)51-7777 (0878)22-3045
〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内

広島電音サービスセンター

☎(082)874-3787
〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3

九州電音サービスセンター

☎(092)472-2134
〒812 福岡市博多区博多駅前2-11 4

〔本 社〕

営業技術課 電音サービスセンター

☎(0534)65-1111
〒430 浜松市中沢町10-1

ヤマハ ミュージック・ラボラトリー・システム (YML®) へのご案内

ミュージック・ラボラトリー・システムは、教育量の増大や質的向上の必要性に応じて、能率的かつ効果的な学習を実現できる画期的な教育機器です。

————— このMLによって —————

集団の中の個別指導／全生徒を同時に指導／ペア(2人)、グループ(4人または8人) 学習指導／さまざまな教材(メロディまたは、伴奏などを抜いたM・M・Oテープなど) を流しての学習指導など、さまざまな学習指導形態がとれ、しかも同時に生徒全員に立体的かつキメ細かな個別指導が行え生徒各人の音楽能力をのびのびと育てることが可能になります。

かつてデスクオルガンの導入が児童の音楽力を飛躍的に高めることになったように、MLはこれからの音楽教育の限りない向上への大きな原動力となることでしょう。



デスクオルガンからMLまで、

デスクオルガンE型はさまざまな音楽的機能を備えているので、鍵盤楽器による音楽の基礎学習効果を著しく高めました。音楽室のデスクオルガンの中に加えて使用できます。

MLシステムは、先生用の楽器1台と生徒用の楽器多数とを接続することにより、集団授業の中でも個別に学習や指導が行なえるよう設計した科学的な音楽教育のシス

デスクオルガンE型の設置

(デスクオルガンの新設・更新のために)

ML教室

(複数のデスクオルガン)

●音楽の表現が豊かになります。

- 61鍵分に相当する音源が内蔵されているため、音域切換によって5オクターブに及ぶ音域をカバーできます。
- 3種の音色（フルート・オーボエ・ストリング）を自由に組み合わせられます。
- ビブラート効果がつけられます。
- エクスプレッションペダルによる強弱の表情づけができます。
- ピッチ調整が可能です。

●個別学習ができます。

ヘッドホンの使用により、音が外部へ洩れないので、自分だけの音で学習できます。

●相互学習ができます。

2台連結タイプ(DE-37、DE-37A)の場合、隣り同士がヘッドホンをつけたまま相互に学習できます。アンサンブル学習その他テープレコーダーを接続すれば、自分の演奏を記録したり、他の録音教材を用いて、繰り返し練習することができます。

●ピッチ調整が可能です。

●モニタージャック
指導者が巡回指導する際に使用するジャックです。

●ヘッドホンとマイクロホン（内蔵）を使って、先生と個々の生徒との間の通話や演奏指導ができます。

生徒1人1人の能力にしたがって、きめこまかなマンツーマンの指導ができるので、生徒の注意力や理解度が著しく増します。

●さらに生徒をいくつかのグループにわけて、それぞれの進度に合った指導を同時に行ない、変化に富んだ授業を効率よく進めることができます。

順を追ってシステム・アップできます。

テムです。このシステムの活用によって生徒の音楽基礎能力は飛躍的に高まり、音楽教育の未来に大きな可能性が開けます。

テープレコーダー、ステレオ、テレビ、VTR、OHPなど、各種の周辺機器を指導用楽器につなぐことにより、さまざまな教材で多角的な指導が行なえるようになります。

に発展

(E型をシステム化)

視聴覚音楽教育の実現

(周辺機器の導入・活用)

- 自習や全体演奏のさい、先生はヘッドホンで個々の生徒の演奏を任意に聞いて、チェックし助言することが可能です。
- ヘッドホンをつけたままグループのアンサンブルが行なえます。さらに指導用楽器を通して、オートリズムを送りこむこともできます。

- テープやレコード、放送等、あらかじめ用意された音楽教材を生徒に与えることができます。とくに主旋律や和声を除いたMMO(ミュージック・マイナス・ワン)の活用により、創造的な

音楽学習が可能になります。

- テレビ(指づかいの確認)、OHP(教材の投影)等を組合わせてMLの授業を行なえば、学習の質はさらに深まり、理想的な音楽授業の形態が生まれます。



日本楽器製造株式会社

本社・工場／〒430 浜松市中沢町10-1

☎ 0534(65)1111

東京支店／〒104 東京都中央区銀座7-11-3(矢島ビル)

☎ 03(574)9416

大阪支店／〒542 大阪市南区南船場3-12-9(心斎橋ブラザビル東館)

☎ 06(251)1111

名古屋支店／〒460 名古屋市中区錦1-18-28

☎ 052(201)5141

九州支店／〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

☎ 092(472)2151

北海道支店／〒064 札幌市中央区南十条西1-4(ヤマハセンター)

☎ 011(512)6113

仙台支店／〒980 仙台市大町2-2-10(住友生命仙台青葉通りビル)

☎ 0222(22)6141

広島支店／〒730 広島市中区紙屋町1-1-18

☎ 082(244)3744

浜松支店／〒430 浜松市鍛冶町321-6

☎ 0534(54)4116